

面接事前準備について

- 訪問先企業情報をご確認下さい。
(面接時間・面接場所・交通手段など)
- 面接で質問・確認したいことを予めメモしておいて下さい。
- 自己 PR、志望動機をまとめておいて下さい。
- 筆記用具は忘れずにご持参下さい。
- 面接日当日受付・エレベーター・控え室での態度にも気をつけて下さい。

面接で聞かれる質問ベスト5

- 1位 何か質問はありますか
- 2位 これまでの会社を辞めた(辞める)理由
- 3位 当社への応募理由
- 4位 前の会社ではどんな仕事をしていたのか
- 5位 入社可能時期

ワンポイントアドバイス:1位の質問に対して、「特にありません」という回答は、企業にとっては自社への興味、熱意を感じられないと判断されかねません。仕事への熱意を感じさせる質問を用意しておきましょう。

面接時の身だしなみ・注意点

担当者の方とお会いした7秒間の間に、立ち居振る舞い・表情・声のトーンなどから、第一印象は決まると言われています。

※清潔感が、第一です。

相手に爽やかさを感じさせること！を、心掛けて下さい。

(服装・髪型・メイクを変えるだけでガラリと印象は変わります)

- 服装 :ビジネスシーンに相応しい物を着る(スーツが無難)
- 髪型 :顔が明るく見える印象としては、前髪をあげると良い
- メイク:オフィスに相応しいナチュラルメイクが好ましい

ワンポイントアドバイス:身なりは、どのような業界、職種であれ、清潔感をポイントにチェックすれば間違いありません。そして最初の挨拶は笑顔ではっきり、丁寧に。面接当日は、第一印象に好印象を与え、先制しましょう。

面接中のポイント

- 挨拶は、元気に
- 敬語できちんとはっきりした口調で・・・
- 質問に対して分かりやすく簡潔に答える。
- 面接中に髪やアクセサリをいじらない。
- 不利な質問にも前向きに答える。
- 相手の目を見て答える。
- ドアは静かに閉める。

面接時の心得「受かりたい！」と、いう意識をもって下さい

- ・意識が変われば行動が変わる。
 - ・行動が変われば結果が変わる。
 - ・結果が変われば自信が変わる。
 - ・自信が変われば夢が叶う。
-
- ・企業が求める ABCD 法則
- 『(A) 当たり前のことを、(B) バカにしないで、(C) ちゃんとやる。
それが、(D) デキル人である』

面接担当者より ～参考ガイド～

企業は何で採用を決めるか？

学歴、職歴、資格いろいろあるでしょうが一番は面接のときの印象だそうです。

どんな豪華な職歴があったとしても面接で愛想無しでは当然不採用ですよね。

中には職歴などは足切りの基準のみであとは面接での人間性を見るといった会社も多いようです。（特に中小企業）

面接時に、人事担当者はココを見ている！！

- ① 入社意欲の強さ
- ② 脱マニュアル的回答
- ③ 学歴より実力を重視
- ④ この会社で何ができるか
- ⑤ 具体的な回答で説得力は増す

面接日当日に最終確認して下さい

- 面接時間の確認はした
- 面接の場所は確認している
- 交通手段は確認している
- 連絡先はメモした
- 会社名・担当者名は覚えた
- 会社の業務内容・求人広告の内容は覚えている
- 質問や、疑問点はまとめた
- 経歴はまとまっている
- 筆記用具は持った
- 服装・髪型・メイクは清潔感がある

◆ 目的地には、なるべく10分前にお越し下さい。

(万が一遅刻しそうな際は 〇〇に、ご連絡下さい。)

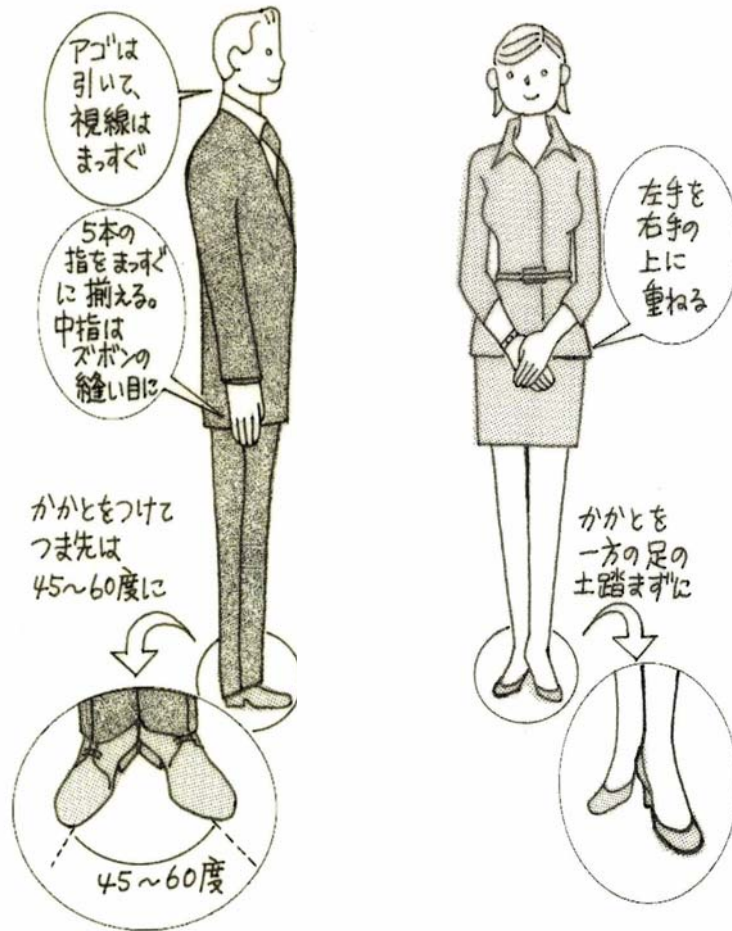
立ち居振る舞い・お辞儀の基本練習

◆ よりエレガントな女性に見える立ち方

- ① つま先を40度程開き、片側の足を少し前に出します。
- ② この出した足のかかとを、後ろ側の足の土踏まずにくっつける感じで引きましょう。
- ③ 腰は正面にします。指はまっすぐに親指は隠して、手を前で軽く重ねます。

◆今すぐできる基本姿勢の作り方

◆よりエレガントな女性に見える立ち方



お辞儀の基礎練習

- ①自分のお腹と背中に手の平をそれぞれ当てます。背中に当てた方の手は思いっきり開いて、腰とお腹に気持を集中させて下さい。
- ②このまま肩をいったん後ろに反らして下ろします。首が前に出ないようにして、アゴだけ軽く引きます。
- ③身体を曲げずにお尻を後ろに突き出し、足の後ろ側がつっぱって痛いなど思うくらいに腰を折ります。目線は、1メートル位先を見ましょう。

◆お辞儀の基本は反復練習で！



この姿勢を身体が覚えたら、
今度は手をまっすぐにして
お辞儀しましょう！